

長良川右岸地区まちなか歩き構想

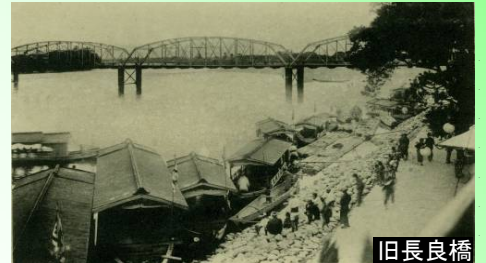
～後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり～



崇福寺



長良川鵜飼



旧長良橋



長良広場



長良川鵜飼で使用する松割木



道三塚



長良川右岸プロムナード

長良川右岸地区まちなか歩き構想

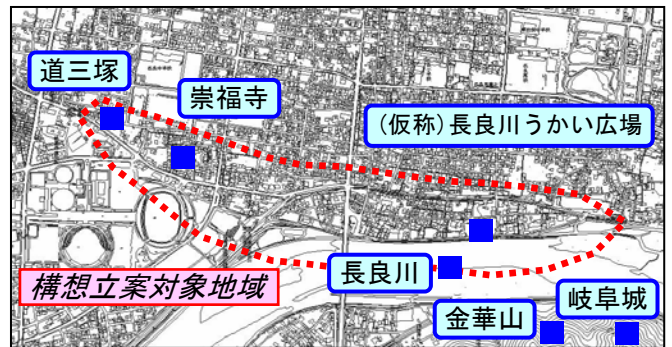
・背景	1
・基本理念	1
・基本目標	1
・目標設定	1
・構想案作成の流れ	2
・テーマ別周遊ルート・整備ルートの設定	2
・各周遊ルートに求められる演出の検討	3
・周遊ルートの整備イメージの検討	4
・新たな魅力づくりの検討	6
・鵜飼屋をゆくみちの整備イメージ	7
・まちなか歩きの観点から、拠点に求められる機能	7
・今後の展開について	8
・本構想が策定されるまでの取り組み	8

長良川右岸地区まちなか歩き構想

背景

長良橋上流の長良川右岸は、目前を長良川の清流が流れ、正面に金華山・岐阜城、上流には鵜飼い大橋を望むことができ、岐阜市有数の景勝地となっている。さらに、春から秋にかけては千三百有余年の伝統を誇る鵜飼が毎夜行われ、夏には間近で花火大会が見える絶好の場所である。

この長良川右岸の鵜飼屋地区を中心とした地域には、岐阜の歴史や文化、自然を肌で感じることができる魅力が多く溶け込んでいる。この魅力ある資源を活かし、この地を歩いて岐阜を感じることの出来るまちづくりを目標とし、後世に伝えられる活力を生み出すための構想を立案するものである。



基本理念

—後世に伝えるまちづくり・ひろばづくり・かわづくり—

- ・人々に語りかけ魅了する、心に感じることができる。
- ・後世に残し伝えたいと願うようなまちづくりを実現する。

基本目標

川文化とのふれあい

本構想対象地域は古くより長良川等の自然に育まれ、川と共に歩んできた人々の暮らしや文化が深く関わる場所である。

本構想では、岐阜を代表する鵜飼や歴史等の名所に着目し、伝統、憩、歴史の3つの要素から、川文化とふれあえるまちとすることを目標とする。

一．伝統を感じる

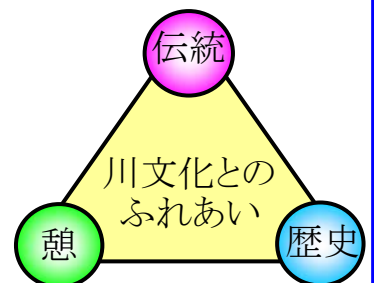
千三百有余年の歴史を誇る鵜飼の伝統文化を感じられるまちづくりを目指す。

二．憩いの場

長良川、金華山の雄大な自然に囲まれ、ゆったりとした時間を過ごせるまちづくりを目指す。

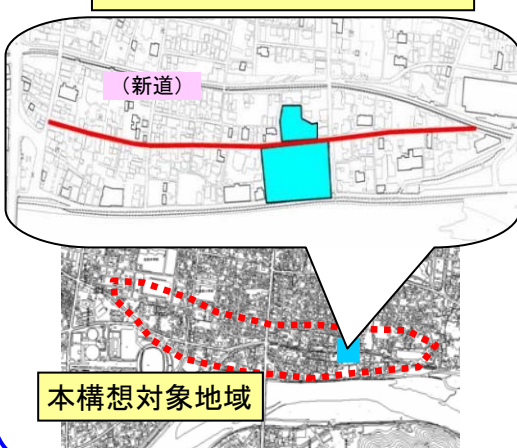
三．歴史を感じる

長良川右岸地区の資源を活用し、歴史を感じられるまちづくりを目指す。



目標設定

(仮称)長良川うかい広場



鵜飼屋地区の中心に位置する、(仮称)長良川うかい広場には、(仮称)長良川うかい広場整備計画において、「うかいミュージアム」や来訪者の駐車場等が設置され、今後來訪者数がますます増えることが見込まれる。このことに伴い長良川プロムナードや鵜飼の家を見るなど、長良川右岸地区の歩行者数も同様に増えることが見込まれる。

本構想の目標値を(仮称)長良川うかい広場整備計画で設定された目標値と同様に、

「うかいミュージアム」の年間入館者目標数 **17万5千人**

として設定し、(仮称)長良川うかい広場整備計画の目標達成に寄与することを目標とする。

また、鵜飼屋地区の新道で歩行者交通量調査を行う等、調査地点について検討が必要であると考ええる。

基本的な進め方

1. 魅力の抽出

2. テーマ別周遊ルート・整備ルートの設定

3. 各周遊ルートに求められる演出の検討

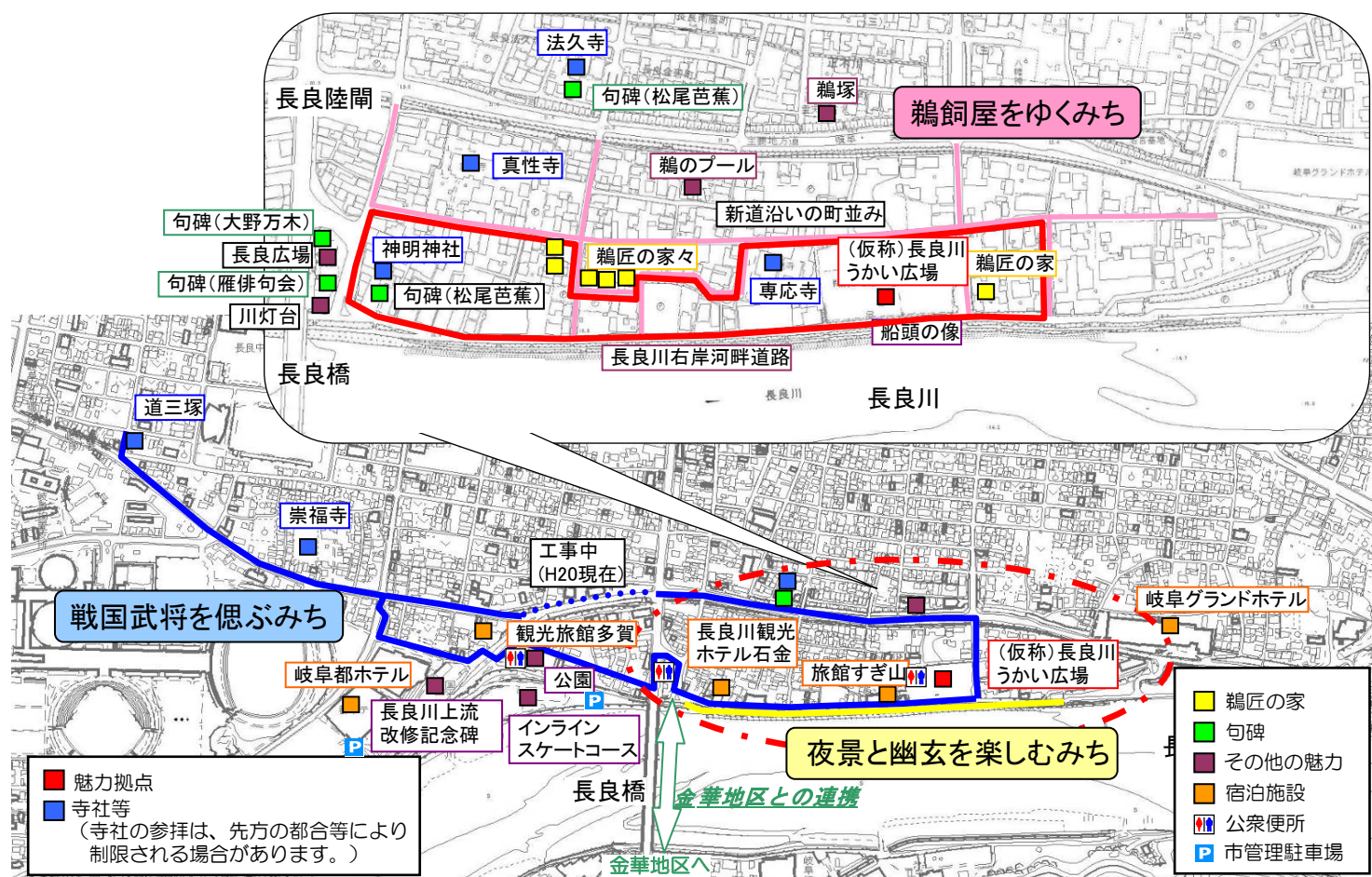
各周遊ルートの整備イメージの検討

新たな魅力づくりの検討

対象地区において3つの周遊ルートを設定

テーマ別周遊ルート・整備ルートの設定

『長良川右岸地区まちなか歩き構想』における3つのルート



(周遊ルート)

鵜飼屋をゆくみち

(道程: 約 1.4 km、所要時間: 約 35 分) (散策)

鵜飼の行われるまちなみをのんびりと散策し、鵜飼屋の生活を感じるルート

戦国武将を偲ぶみち

(道程: 約 3.6 km、所要時間: 約 90 分) (散策)

斎藤道三・織田信長公の史跡を訪ね、岐阜の歴史を感じるルート

夜景と幽玄を楽しむみち

(道程: 約 0.7 km、所要時間: 約 20 分) (散策)

闇夜に輝く夜景と、清流長良川の幽玄な鵜飼を楽しむルート

※長良橋を渡り金華地区へ行くと、岐阜公園や、川原町のまちなみを散策することができます。

(整備ルート)

鵜飼屋をゆくみち (距離: 約 1.4 km)

鵜飼屋地区全体を歩いて楽しむために、道路修景等整備を行うルート

各周遊ルートに求められる演出の検討

設定した各周遊ルートの魅力をさらに引き出し、楽しくまちなかを歩くための演出を検討する。

鵜飼屋をゆくみち

ルートのテーマ：伝統的な鵜飼屋のまちなみや鵜匠の生活を垣間見ながらのんびり散策するルート。

求められる演出：鵜飼屋のまちなみを散策したいと思わせる「鵜飼屋地区の伝統的なまちなみの雰囲気や情緒づくり」と「長良川の自然を感じさせる演出」が求められる。

位置図



位置図の写真



夜景と幽玄を楽しむみち

ルートのテーマ：金華山、長良川の雄大な自然の風景を楽しみながら歩いたり、川縁のプロムナードで腰を下ろしたりしながらゆったりとした時間を過ごし、日没後には、闇夜に輝く夜景と、幽玄な鵜飼を楽しむことができるやすらぎとにぎわいの場。

求められる演出：メイン道路である当ルートのハード整備は完了済みであるため、今後は「イベント等による賑わいの創出」及び「鵜飼屋地区内及び周辺地区との連携による回遊性の創出」が求められる。

位置図



位置図の写真



戦国武将を偲ぶみち

ルートのテーマ：昔は河川敷だった場所を散策し長良川右岸地区の景観の変貌や時代の流れを感じ、斎藤道三公・織田信長公の史跡を訪ねるなど岐阜の歴史を感じるルート。

求められる演出：「長良川右岸地区の変貌がわかる仕掛けづくり」や「戦国武将の史跡への案内」が求められる。

位置図



位置図の写真



周遊ルートの整備イメージの検討

周遊ルートに求められる演出の検討から、周遊ルートの整備イメージを取りまとめる。

整備イメージ

道路の意匠

伝統的なまちなみや川の雰囲気を感じさせる道路デザイン。

道路附属物

伝統的なまちなみの雰囲気や情緒づくり。

サイン、看板の設置

寺社等へのわかりやすい誘導案内。

道路の意匠

- ・道路を地道風舗装にすることで伝統的なまちなみを演出
- ・地道風舗装に合わせた趣のある側溝整備
- ・イメージハンプを設置することで安全な歩行空間を創出

伝統的なまちなみの演出

位置図



整備前



整備後のイメージ



- ・割り玉石風舗装を施し長良川の玉石をイメージさせる
- ・割り玉石風舗装に合わせたデザインの側溝整備
- ・鵜が長良川から鳥屋へ帰る様子をイメージした鵜の足跡を付けることで、鵜飼のあるまちを演出

位置図



整備前



整備後のイメージ



位置図



整備前



整備後のイメージ



長良川の雰囲気を演出

道路附属物

- ・柱や標識板裏面を着色し景観に配慮する
- ・鵜をイメージしたデザインの照明灯に統一することで鵜飼屋地区とのまちなみの調和を図る

伝統的なまちなみの 雰囲気や情緒づくり



電柱の着色例



鵜をイメージした照明灯

サイン、看板の設置

- ・サイン看板や路面案内板を設置し、周遊ルートのご案内や寺社等への誘導案内を行う
- ・まちなみの雰囲気にあった字体や、デザイン、材質となるよう工夫を凝らす
- ・自動車、自転車、歩行者等の交通手段に対応した案内
- ・鵜飼等に関する説明板の設置



サイン看板

寺社等への誘導案内



道三塚への案内標示板



崇福寺への案内標示板

伝統的なまちづくりへの配慮

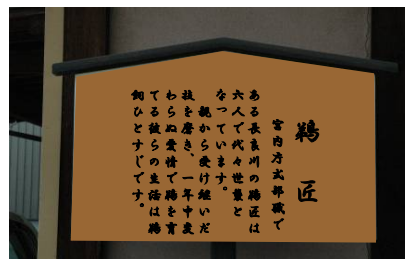


鵜匠の家の表札

楽しく学びながら回遊するための仕掛けづくり



趣のある説明板



高札を模した説明板

新たな魅力づくりの検討

敷際空間の活用

- ・ 提灯の飾り付け
- ・ 昔の写真の掲示

まちなみにうるおいを与え、訪れる人へのもてなしの心を演出

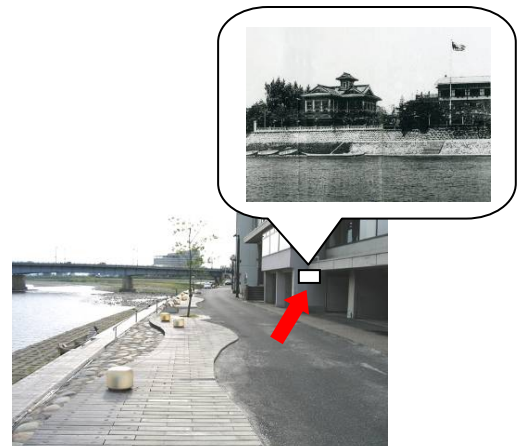


提灯の飾り付け例

話題を提供し賑わいを創出する



昔の写真の掲示例



昔の写真の掲示例

その他のソフト事業

- ・ 渡し舟の運航
- ・ レンタサイクルによる回遊
- ・ ぎふ・いざナビ（QRコード）によるまちなか案内
- ・ イベントの実施による賑わいの創出
- ・ まちなか案内人の検討

賑わいの創出



渡し舟の運航



レンタサイクルによる回遊



レンタサイクルポートに観光ガイドを設置



イベント：QRコードを使ったスタンプラリー

長良川右岸地区及びその周辺地区との連携による回遊性の創出

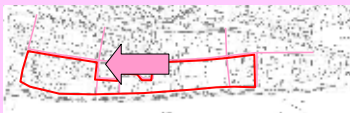


まちなか案内人

鵜飼屋をゆくみち

地道風舗装や鵜をイメージした照明灯への統一、提灯の飾り付け等を行うことで、伝統的まちなみを演出する。昔の写真を撮影した場所と同じ場所に掲示することで、長良川周辺の風景の変貌を感じてもらい、来訪者に話題を提供することで賑わいの創出を図る。

位置図



整備前



整備後のイメージ



電柱の着色

提灯の飾り付け

昔の写真の掲示

鵜をイメージした照明灯への統一

地道風舗装に合わせた側溝整備

地道風舗装

※周遊ルートがこのような整備イメージになることを示したものではありません。また、整備に入る際は、今回策定する構想をもとに、より具体的な整備内容について担当事業室より説明があります。

まちなか歩きの観点から、拠点に求められる機能

拠点としての機能を求める場所

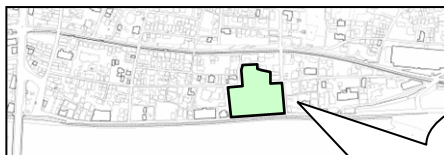
鵜飼屋地区の中心に位置し、今後、活用が検討される（仮称）長良川うかい広場を拠点として検討する。

位置付け

長良川・鵜飼・金華山を楽しむことの出来る憩いと賑わいの場。

求められる機能

鵜飼文化の継承のための学習施設、アクセス機能として車、バス、自転車の駐車場、賑わいや回遊性を高めるレンタサイクルポートの設置や飲食機能、トイレ、休憩施設が求められる。



（仮称）長良川うかい広場整備イメージ

※（仮称）長良川うかい広場整備計画より

今後の展開について

- ・今後の進め方について、「鵜飼屋をゆくみち」の道路修景事業は、平成19年度から事業着手し順次施工する。
敷設空間の活用などのソフト事業については、ルール作り等の準備期間が必要になるが、市民や関係団体と連携し行政と協働で進めていく。
- ・（仮称）長良川うかい広場の活用については、本構想の検討内容を踏まえ、有識者や地元住民、関係諸団体の代表者で構成される協議会において長良川ホテル跡地等基本計画が策定され、今後、それを具現化した（仮称）長良川うかい広場整備計画を策定する予定である。
- ・周遊ルートのマップ作成等により、広く周遊ルートの周知を図る。

本構想案が策定されるまでの取り組み

ワークショップ

- ・日時：平成19年 9月24日（月）
- ・場所：長良公民館
- ・内容
地域やまちづくり協議会等の代表者をメンバーに、長良川右岸地区まちなか歩き構想の策定に伴うワークショップを行いました。
長良川右岸地区にある魅力や、周遊ルート、整備イメージについて活発な意見が出されました。



長良川右岸地区まちなか歩き構想 ワークショップメンバー

長良自治会連合会	
会長	林 恵春
副会長	林 誠治
鵜飼屋景観まちづくり協議会	
事務局	山下 哲司
会計	石原 一良
幹事	安藤 文夫
委員	杉山 雅彦
委員	石井 秀雄
長良川温泉旅館協同組合	
部長	橋本 勝昭
岐阜市	
商工観光政策室	山田 哲司
社会教育室	横田 宏
道路建設室	宮川 龍也
コーディネーター（鵜飼屋景観まちづくり協議会）	
副会長	村瀬 光正
事務局	
岐阜市 まちなか歩き推進室	
財団法人 岐阜市にぎわいまち公社	

※順不同

岐阜市 まちづくり推進部まちなか歩き推進課

岐阜市今沢町18番地

財団法人 岐阜市にぎわいまち公社

岐阜市神田町1丁目11番地

TEL 058-265-4141（代表）

2008年 3月作成

2009年 3月一部修正